



初夏とは、文字どおり夏の初めという意味で、暦の上では5月～6月初めの頃を指します。百人一首に収められた歌の中で、夏について詠まれたものは最も少なく、4首を数えるのみだそうです。

その中に有名な名作中の名作、この和歌が含まれています。

「春過ぎて 夏来にけらし白妙の 衣ほすてふ 天の香具山」

度会町のさわやかな自然、初夏の風景とも重なるような句だと思えます。

「わたっこ広場で子ポラさんと遊ぼう! (仮)」の お知らせ

「わたらい子育てボランティア」が「わたっこ広場」に来てくれます。

手遊びや紙芝居、絵本の読み聞かせなど、いっしょに遊んだり、お話ししたりしませんか?

よかったら、ぜひ遊びに来てください。

日時：令和3年7月8日(木) 10:30～11:30頃

場所：子育て支援センター「わたっこ広場」

対象：保護者と子どもさん(保護者はどなたでもかまいません)



6月の行事予定

17日(木) 遊・友・YOU (ひよこ・うさぎ)

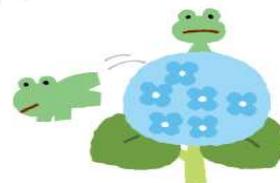
10:30～11:30

23日(水) わたっこ Baby 広場

10:30～11:30

育児相談(予約制)

11:30～12:00



防災シリーズ②

『今からできる「防災」について』みなさん、できそうなことです・・・

近頃の話で、100円ショップだけで防災グッズを揃えよう、というお話しがあるそうです。

一般で揃えようと思うと高いし、100円ショップなら気負わず揃えられそうですね。

100円防災グッズとしては(お店にもよりますが)、簡易トイレ、缶詰等、ネームカード、防犯ベル、タオル、ホイッスル、多機能ナイフ等々があるそうです。

メリットとしては、手軽で安いこと。まずは、始める、ということで気持ちが楽になる。だんだんと十分に備えるきっかけになる、ということです。お菓子も100円ショップで多種類ありますね。

例えば、すぐにできそうな備えということで「モバイル防災ポーチ」として持ち歩く、ということもいいかもしれません。片手で持てるポーチに、マスク、小銭を含めた現金(ATMが使えない時用)、携帯トイレなどを入れておく… 携帯トイレは、出先での緊急時にも使えます。

生活の中に防災が入っている「生活防災」という考え方。

大切なものを常に身近に置いておく。そしてたまにはご自宅で「在宅避難生活訓練」をしてみてもよいですね。

日常生活の中で、1人1人が何を優先するのか。食べること?寝ること?

何が大切か、何がなくなったら困るか、改めて見つめなおして、それを守るために少しだけ行動を起こしませんか?ということです。

そうしたことに気づく、というだけで、まずはりっぱな「防災」のスタートである、ということです。



〈変異ウイルスの最新情報〉

今、日本で多くみられているこの変異ウイルスは、従来型のもの比べて「感染力」が1.5倍となっている。今までは、1人から2人に移していたものが、1人から3人に移すので、その後9倍、27倍と指数関数的に増加することが問題になる。感染者の傾向としては、これまでどおり人との交流の機会の多い20歳代～30歳代の感染者が多い。これまで子どもはかかりにくく数は少なかったが、割合は若干増えている。ただ、今までかかりにくかったものが普通にかかるようになったということで、決して子どもに感染しやすいウイルスが出てきた、ということではない。

〈新型コロナワクチンについて〉

接種後の副反応として、腕の痛みや、熱発、だるいような感じ等がある。

熱発は若い人に多い傾向が明らかになっている。若い人に熱発が多いという理由はよくわからないが、免疫反応で一過性であり残らないもの。当日、翌日くらいでそれ以上持ち越すことはあまりないもの。なので、可能であればワクチンを打った翌日は、休めるような設定があればよい。

変異ウイルスへの効果…流行の中心になっている世界各国でも、このワクチンの効果が見られる、といわれている。発症予防効果（ファイザー製）は95%、効果の持続は今のところ半年くらいはもつ、ということがわかっている。副反応の最新状況は、これまで日本で180万回以上の接種がなされているが、その中で重篤といわれるアナフィラキシー反応は1万人に1人程度発生している。

持病がある人は、むしろ新型コロナにかかった時にこれが重症化するリスクが高いため、積極的に受けてもらった方がよい。



〈変異ウイルスと子どもたちのこと〉

イギリスで見つかって、日本で広がっている変異ウイルス、子どもでも大人と同じようにかかる感染力があるということと、かかった場合に症状が出なかったり、普通の風邪と見分けがつかないということで、これまでのウイルスと比べて、重症度は変わらない、ということがわかっている。つまり、これまでのウイルスよりはかかりやすいけど、重症度は変わらない。例えば、インフルエンザと比べるとこれよりは症状は軽いと思われる。

子ども達が特に気をつけるべきことは… 今までと同じだが、マスクが付けられるような年齢になったら、マスクを付ける。ただし、2歳未満の子どもは危険なので付けない。また、マスクを付けていられない発達段階のお子さんは付けないで。

日頃の暮らしで子どもたちに対してどのようなことを気遣ってやったらよいか…



感染対策という意味では、手洗いであるとか、感染予防という観点では、家庭内でも口に入るような物、歯磨き粉等を個別化するとか。症状のある子どもなどは、部屋を別にしたり、お風呂の後に換気をしたりするとよい。

学校の活動では…密になる活動を避けること、熱とか咳等の症状があったら、しっかりと休むことが大事。基本的に子どもはこれまでよりかかりやすくなっているが、大人は落ち着いて考えることが大事。むしろ、子どもの生活を制限することで、子どものところに与える影響があれば、そこをケアしてやっていただきたい。

元気なわたっこ（度会町の子ども）たち

♡みなさんカメラ目線ですねーっ♡♡ 撮影にも協力してくれ、色々興味を持ってしっかり遊んでいました♡♡♡

